

令和 4 年度
(第 11 事業年度)
事業報告

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

「令和4年度事業報告」目次

| | |
|-------------------------------------|------|
| 要旨 | 1 |
| 《事業活動》 | 2 |
| ソルフェージュによる音楽指導及び普及(公益目的事業 1) | 2 |
| 1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営 | 2 |
| (1) コロナウイルスの感染拡大を防ぐための安全対策 | 2 |
| (2) ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導 | 2 |
| 【ソルフェージュ、器楽及び声楽のレッスン】 | 2 |
| 【合奏のレッスン(室内合奏団のレッスン)】 | 3 |
| 【コーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】 | 3 |
| 【子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】 | 3 |
| 【“ウフ”のレッスン】 | 3 |
| 【“ソソレフェー & ABC.”のレッスン】 | 3 |
| 【リコーダーアンサンブルのレッスン】 | 3 |
| 【春のミュージックキャンプ】 | 3 |
| 【夏季合宿】 | 3 |
| 【楽しくアンサンブル】 | 4 |
| 【大人の音楽の時間】 | 4 |
| 【器楽クラスのアナサンブルレッスン】 | 4 |
| (3) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及 | 4 |
| ①特別プロジェクト | 4 |
| 【ソルフェージュスクール創立 60 周年記念演奏会】 | 4,5 |
| ②通常プロジェクト | 5 |
| 【前期おさらい会】 【後期おさらい会】 | 5 |
| 【研究会】 【試演会】 | 5 |
| 【講師によるコンサート】 | 5 |
| 【海外の専門家(ソルフェージュ研究者等)との国際交流】 | 6 |
| ③地域プロジェクト | 6 |
| (4) ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等「広報」と充実 | 6,7 |
| 2. 音楽ホール、練習室の貸与 | 7 |
| 3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、後援会開催 | 7,8 |
| 《管理部門》 | 9 |
| 1. 法人としての諸会議 | 9,10 |
| 2. 公益財団法人の情報公開 | 10 |
| 3. 業務執行体制の強化 | 10 |
| 4. 附属明細書について | 10 |

要 旨

今年度はコロナ禍であっても音楽教育を立て直し、事業を通常通り実施できるよう努力・工夫を重ねた。

コロナウイルスの感染拡大を防ぐ安全対策を十分に講じた上で、授業はできるだけ対面で続けていけるよう努力した。諸行事に関してもその時の状況に合わせて対象者、楽器、人数などの調整をして安全を確保した。

単に音楽の技術のみを教授するのではなく、豊かな心を持つ人材の育成も教育の核となっている当スクールでは、困難な時期だからこそ音楽が心を温かく、豊かにしてくれることを強く伝えると共に、一人一人とていねいに優しくかわることに努め、信頼を確保した。

創立60周年記念演奏会を1年遅れで、ソルフェージュスクール演奏会と合体させて開催した。演奏会プログラムは密を避け、コロナ蔓延防止対策を考慮して作成し、入場者数もその時の状況で調整した。当スクールで学び、世界的なチェリストとして活躍する林俊昭氏による熱意溢れる演奏と、同じくOBである林徹也氏の指導する室内合奏団との共演は当演奏会の核心であった。当スクールOB二氏の登場は、来場者が当スクールの教育を理解する重要な機会をもたらした。

コロナ禍は生徒数の減少をもたらした。次年度は、生徒数を増やすために、これからの少子化への対策として、「ちびっこコンサート」を企画している。さらに新しく、「若者たちのための室内楽クラス」、「ピアノアンサンブルクラス」、「大人のためのクラス」を実施できるように準備を進めた。また、並行して多角的な音楽指導方法の開発などの検討を続けた。

小規模である当財団の運営は難しいところもあるが、今までの実績、ユニークな教育、公益に寄与していること、新しい指導法の可能性などを考えると、今後も活動を継続できるように一層の努力をするべきだと考えた。

昨年に引き続き、財政面においては篤志家の援助もいただきながら、事業の充実を図ると共に経費削減の努力を継続した。

《事業活動》

ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）

1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

以下の対策・事業を行いソルフェージュスクールを運営した。

(1) コロナウイルスの感染拡大を防ぐための安全対策

コロナ禍の収束が予測できないので、下記の感染予防対策を講じて事業を行った。

〈当スクールの対策〉

- ・講師・スタッフはマスク着用
- ・検温報告
- ・手指洗い、手指消毒の徹底
- ・スクール内設備、室内、共有物の都度消毒
- ・レッスンごとの換気、ピアノ・教具の拭き掃除と消毒
- ・レッスン中も生徒と一定の距離をとる
- ・歌うことは最小限に抑える
- ・空気清浄機、加湿器の導入

〈生徒へのお願い〉

- ・マスクの着用
- ・スクールに到着時、検温確認と入口の消毒液で手指の消毒
- ・体調がすぐれない場合は無理をせず休む

(2) ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催した。いずれも一般に公開した。

当法人が開発したソルフェージュジェットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせた。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させた。

コロナウイルスに対し最大限の感染予防対策を講じながら、原則として対面レッスンを行った。また、平常時のレッスン受講費は入室案内に公開しているが、指導方法に応じて設定変更を考慮した。

【ソルフェージュ、器楽及び声楽のレッスン】 延べ受講者数 499名

| | |
|------|--------------------------|
| 1 学期 | 4 月 5 日（火）～7 月 22 日（金） |
| 2 学期 | 9 月 6 日（火）～12 月 24 日（土） |
| 3 学期 | 1 月 12 日（木）～令和5年3月23日（木） |

*原則として、週1回のレッスンとし、夏季レッスン日各曜日各1回（器楽受講者のみ）を含め、年間合計で41回実施。

【合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象 延べ受講者数 102 名

* 成人受講生対象で月 2 回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを行った。

* 原則として月 2 回とし 8 月は休み。年間合計で 22 回を実施。

【コーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】 一般対象 延べ受講者数 247 名

* 成人受講生対象で月 1 回土曜日に行い、年 11 回を実施。

【子どものコーラス“レ・テタル”のレッスン】 一般対象 延べ受講者数 59 名

* 小学生から高校生対象で月 1 回日曜日に行う。年 10 回を実施。

【“ウフ”のレッスン】 一般対象 延べ受講者数 53 名

* 0 歳児から 5 歳児とその保護者を対象で月 1 回日曜日に行う音遊び。年 10 回を実施。

対面が基本だが、コロナ禍の状況に応じてオンライン開催とした。

【“ソルフェージュ&ABC”のレッスン】 一般対象 延べ受講者数 44 名

* 小学校 1～4 年生を対象で月 1 回日曜日に行うソルフェージュと英語のコラボ。年 10 回を実施。

【リコーダーアンサンブルのレッスン】 一般対象 延べ受講者数 36 名

* 成人受講生対象で原則として月 1 回。曜日及び時間は参加者が相談して決めて実施。年 10 回実施。

【春のミュージックキャンプ】 一般対象 受講者 10 名

4 月 2 日（土）、3（日）2 日間 当法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための 2 日間の講座。受講生の組合せを工夫し、様々なグループで用意された曲を勉強した。

【夏季合宿】 一般対象 受講者 11 名

8 月 12 日（金）～14 日（日） 当法人ホール及び教室

中学生以上を対象として毎年行う合宿。春のミュージックキャンプより一層深く曲に取り組み、演奏発表を目標にして、2 人のアンサンブルから全員による合奏まで様々な形の曲を勉強する。コロナ禍のため、外部での宿泊合宿ではなく当スクールへ通う形態とし、小学 3 年以上を対象として実施。アンサンブルや合奏を通じて、音楽の勉強に留まらず、相手への思い遣りなどを自然に身に付けられるようなプログラム構成を考えた。また、合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートを開いた。

令和4年度事業報告

【楽しくアンサンブル】 一般対象

夏季 7月18日(月・祝) 当法人ホール及び教室 受講者7名
冬季 11月23日(水・祝) 同上 受講者7名

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と11月の2回開催した。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく、事前に楽譜を渡して個人練習をした上で、その場でのアンサンブルの体験を積むように指導者が導いた。複数回受講経験者の初見及び音楽的な演奏の進歩には顕著なものがあった。

【大人の音楽の時間】 一般成人対象

環境が整わず実施できなかった。

【器楽クラスのアンサンブルレッスン】 器楽生徒対象

アンサンブルを大事にするために試みたかったが、準備が間に合わなかった。

(3) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

① 特別プロジェクト

【ソルフェージュスクール創立60周年記念演奏会】

6月26日(日) 会場:日本橋公会堂(有料)

原則として5年毎に外部会場でゲスト演奏家等を交えて開催するソルフェージュスクールの周年記念演奏会だが、今回はコロナ禍の影響を受け、創立60周年の2021年度(令和3年度)に実施予定していたものを1年延期して、通常プロジェクトである「ソルフェージュスクール演奏会」と合体させて実施した。この「ソルフェージュスクール演奏会」の本来の位置づけは、ソルフェージュスクールの生徒全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演する外部のホールで催す年1回の定期演奏会であり、来場者がスクールの教育を理解する重要な機会としている。年1回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの生徒が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにかに活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するというプロセスを学ぶ。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションもあり、これらを一般公開してソルフェージュスクールの教育のあり方を提示することを目的とした演奏会である。この「ソルフェージュスクール演奏会」を「ソルフェージュスクール創立60周年記念演奏会」と合体させた。演奏会プログラムは密を避け、コロナ蔓延防止対策を考慮して作成し、入場者数もその時の状況で調整した。今回の周年記念演奏会は、「ソルフェージュスクール演奏会」の本来の要素を一部入れながら、創立60周年に相応しいプログラム構成とした。

当スクールのOBであるチェリスト・林俊昭氏をゲストとして迎え、同じくOBである林徹也氏の指導する室内合奏団との共演をメインプログラムとした。他に「ソルフェージュスクール演奏会」の特色である生徒参加によるプログラムを加えて、一般に披露した。

② 通常プロジェクト

【前期おさらい会 10月23日(日)当法人ホール 演奏者12名】

【後期おさらい会 令和5年3月21日(火・祝)当法人ホール 演奏者11名】

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらった。

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年1回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、保護者、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会であった。

【研究会 5月と2023年2月に実施当法人ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々テーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会として、年2回開いた。

5月15日 スクールにある楽譜の確認と整理を行った。

令和5年2月9日 ZOOM開催 ソルフェージュスクールにおける音楽教育について話し合った。

【試演会 令和5年1月29日当法人ホール】

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会であり、講師が自発的に企画し実施した。

【講師によるコンサート】

＜春のコンサート 4月29日(金・祝)当法人ホール(有料)来場者数37名＞

＜クリスマスコンサート 12月18日(日)当法人ホール(有料)来場者数61名＞

春と12月に開く講師及びゲスト演奏家を交えての演奏会。

「音楽はソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得る」というソルフェージュスクールの目標のひとつを、ソルフェージュスクールの講師が自らの演奏によって、より多くの方へ伝えるためのコンサートであった。

【海外の専門家（ソルフェージ研究者等）との国際交流】 一般対象（原則として有料）

ソルフェージスクールで学び、アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き特別講習会を開きたかったが、コロナ禍のため来日できず実施できなかった。

③ 地域プロジェクト

児童及び高齢者を対象とした地域プロジェクトへ協力（講師派遣等）であり、豊島区のNPO 法人富士見台ひろば主催のクリスマスコンサート等へ協力をした。

（4）ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実

ソルフェージ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージの普及のため研究成果及び教育内容などの出版は下記の通りであった。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載した。ホームページの内容充実と更新を継続し、タイムリーな情報発信を facebook 等の SNS で行った。

① facebook 等の SNS の活用

ホームページとは別に、facebook に Instagram と Twitter を加えて SNS を連携させて情報発信を強化することにより、タイムリーで詳細なソルフェージスクールの事業内容を広報することができた。

② ソルフェージ教育に必要な図書、楽譜等の購入

購入品はなかった。

③ 「ソルフェージスクール News Letter」の発行

スクールの行事の報告及び予告等スクールの活動をタイムリーに広報し、またその時々
の音楽のコラムなども掲載した。一般に無料配布した。11号：6/15 発行、12号：10/19 発行。

④ 独自に発行したソルフェージ指導楽譜を教材として使用し、一般に実費配布した。

シャセバン1 ￥560－（税込）

シャセバン2 ￥612－（税込）

シャセバン3 ￥440－（税込）

⑤ 新しい指導教材の開発・研究

他分野の研究グループ等と連携して、ソルフェージュト新版等の指導教材の改良・作成等の検討を継続した。

また、あらゆる世代に面白いと興味を持ってもらえる音楽アプリの開発を継続した。

⑥ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書類の整理を昨年度に引き続き行った。

できるだけ早急に公開できるように、web掲載、分冊発行等の検討を継続した。

⑦ ホームページの充実

広報力の強いホームページとするために、更新間隔の短縮に努め、迅速な情報伝達を強化した。音楽を心の糧にし、音楽で豊かな心を育むことで人間性を高め、日本の音楽文化を進化させていけることを強く訴え、内容を濃くすると共にわかりやすくアピール力のある表現となるよう工夫を重ねた。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開した。

⑧ 他のデータシステムとの連携

文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図った。

2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与した。とくに、音楽学校受験生の使用費用は一般の2割引きとして活用を促したが、いずれもコロナ禍の影響が大きく、貸出件数は少なかった。

3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（無料/有料）

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月1回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月1回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらおうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらおう機会もコロナ禍の影響によりほとんど実施できなかった。

【講習会・講演会】

演奏技術のみならず演奏家の逸話、音楽史等々広範囲な内容とし、海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流の場としての特別講習会を開催する予定ではあったが、コロナ禍の影響により実施できなかった。

《管理部門》

1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催した。ただし、コロナ禍の影響により、通常の対面ではなくオンライン（ZOOM）会議となった。

【令和4年5月18日 決算監査】

開催方法：ZOOM会議

出席等：監事2名出席

【令和4年5月25日 令和4年度 第1回通常理事会】

開催方法：ZOOM会議

決議事項：1. 令和3年度事業報告及び決算並びに令和3年度事業報告書等に係わる提出書類の承認決議

2. 定款 附則の修正の承認決議

3. 令和4年度定時評議員会の招集決議

1. 日時：令和4年6月15日（水） 12：30～13：40

2. 開催方法：ZOOM会議

3. 議題：1. 令和3年度事業報告及び決算並びに令和3年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議

2. 定款のP.15<別表第1>及び附則の修正の承認決議

3. 当評議員会で任期満了となる理事を選任する承認決議

4. 報告：1. 資産の管理運用状況の報告

2. 令和4年度事業計画及び収支予算書等の報告

4. 令和4年度定時評議員会で選任される理事の推薦候補（案）の承認決議

出席等：理事6名出席、監事2名出席

【令和4年6月15日 令和4年度 定時評議員会】

開催方法：ZOOM会議

決議事項：1. 令和3年度事業報告及び決算並びに令和3年度事業報告書等に係わる提出書類の承認決議

2. 定款のP.15<別表第1>及び附則の修正の承認決議

3. 当評議員会で任期満了となる理事を選任する承認決議

令和4年度事業報告

- 報告事項： 1. 資産の管理運用状況の報告
2. 令和4年度事業計画及び収支予算書等の報告

出席等：評議員4名出席 1名欠席、監事2名出席、理事5名出席、1名欠席

【令和4年6月15日 令和4年度 臨時理事会】

開催方法：ZOOM会議

- 決議事項： 1. 理事長、専務理事及び常務理事選定の件
2. コンプライアンス担当理事の選定の件

出席等：理事5名出席 1名欠席 監事2名出席、

【令和5年2月8日 令和4年度 第2回通常理事会】

開催方法：ZOOM会議

- 決議事項： 1. 令和5年度事業計画及び収支予算書等の承認決議
2. ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実を図るための具体的な方策について
1) 新聞等の一般媒体で当スクールの認知度アップに繋げていくこと
2) 登録有形文化財申請の検討
3) 楽譜のライブラリー化

報告事項： 1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告

出席等：理事6名出席、監事1名出席 1名欠席

2. 公益財団法人の情報公開

現在公開中のものに加え、令和4年度事業報告書及び計算書類等、令和5年度事業計画書及び収支予算書等をwebサイトで情報公開した。

また、年5回発行予定の「ソルフェージュスクール NEWSLETTER」で当スクールの活動状況を公開した。

3. 業務執行体制の強化

6月の定時評議員会において任期2年満期の理事の選任を行い、業務執行体制を強化し、コロナ禍で低調な運営状況の回復に全力を注いだ。

また、コンプライアンスの強化に努めた。

4. 附属明細書について

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属証明書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。